

編集後記

大学の仕事が、従来の研究、教育から次第に様々な運営にまで拡大され、それぞれの教員は何かしら多忙を極めている。本センターの研究者もその例外ではない。その中で、「地域社会研究」だけは出し続けることを方針にやってきたが、本号で18回を数えた。読者の方々にどれほどの満足を、と自問すると忸怩たるものがあるが、来年度はもう少し充実させていきたい。お送りしている方から、思わぬ激励を頂くこともある。「地域社会研究」というと、経済や行政、福祉などを扱うことが多い中、方言など文化に触れ、地域社会の意味を問うていることが面白い、というご指摘をいただいた。これは、センターを創設した秋田清先生の思いの反映であるが、その志を捨てずに、これからがんばりたい。読者諸賢の叱咤激励をお願いする次第である。